

製品名: ROR1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80761**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	101kDa

抗原情報

遺伝子名	ROR1
別名	ROR1
遺伝子 ID	4919.0
SwissProt ID	Q01973
免疫原	HEK293 細胞で発現した hIgGFc タグを融合したヒト ROR1（アミノ酸 30-406）の組換え細胞外断片

背景

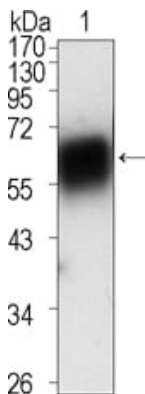
ROR1 は I 型膜タンパク質であり、中枢神経系における神経突起の成長を調節する受容体型タンパク質チロシンキナーゼです。ROR

ファミリー受容体型チロシンキナーゼは、構造的に類似した2つのタンパク質、ROR1とROR2から構成されています。これらのタンパク質は、Trkファミリーキナーゼと高度に関連する細胞内チロシンキナーゼドメイン、細胞外Frizzled様システインリッチドメイン(CRD)、およびクリングルドメインを有することを特徴としています。RORファミリーのメンバーは、線虫(*C. elegans*)、ショウジョウバエ(*Drosophila*)、アフリカツメガエル(*Xenopus*)、哺乳類などの種間で高度に保存されています。ROR1とROR2はどちらも器官形成に関与しており、特に神経分化に大きく関与しています。急性リンパ芽球性白血病(ALL)および慢性リンパ性白血病(CLL)におけるROR1の発現増加は、このタンパク質がこれらの疾患の標的免疫療法の潜在的なツールとなることを示唆しています。

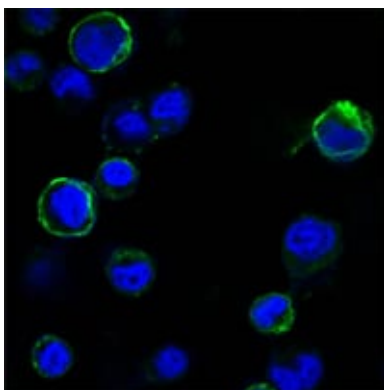
研究分野

Wntシグナル伝達経路

画像データ



ヒトROR1の細胞外ドメイン(aa30-423)に対するROR1マウスmAbを使用したウエスタンブロット分析。



ROR1マウスmAb(緑)を用いた、細胞外ROR1(アミノ酸30-406)-hlgGfCを導入したHEK293細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光DNA色素。